NTT Communications
ご利用の手引き
Fネット
ファクシミリ通信網サービス

ご利用になる前に

Fネットをお使いいただく方へ

このたびはFネットをご利用いただき、ありがとうございます。
この「ご利用の手引き」は、お客さまがより便利にFネットをご活用いただけますよう作成いたしました。
常にファクスのそばに置いてお役立てください。
また、本書の操作手順をファクスのワンタッチダイヤル等にセットしてご利用になるとさらに便利にお使いいただけます。

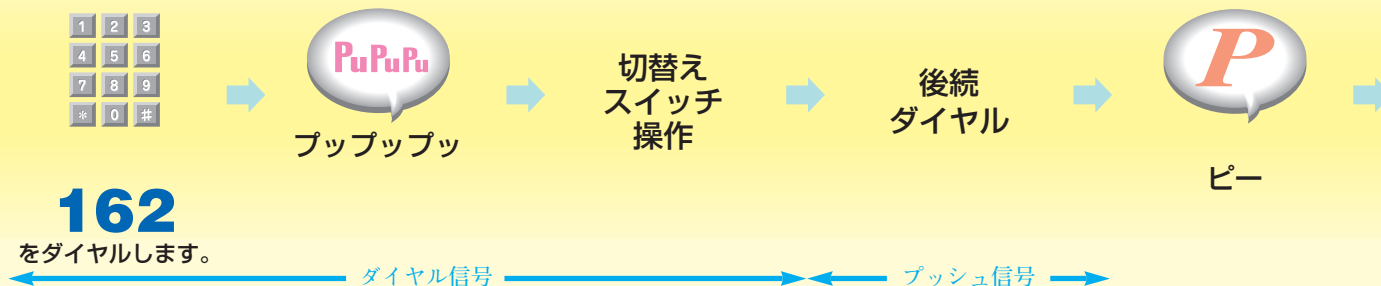
● ワンタッチダイヤル等への登録方法については、ファクスの取扱説明書をご参照ください。

■ Fネット開通の確認方法（無料）

ファクスがFネットをご利用いただける状態になっているかどうか、下記の手順に従って、確認することができます。
次ページからの手順もすべて、この方法に従っています。

● テストが正常に行えないときは、ファクスのアフターサービス担当、または故障受付までご連絡ください。

■ ダイヤル回線から「162」を使った発信方法（スイッチャブル端末でのみ利用できます）

※ プッシュ回線からは「切替スイッチ操作」は必要ありません。

● 切替スイッチ（「トーン」、「シグナルチェンジ」、「プッシュ」、「PB」等の名称が記載されています）の操作については、各ファクス取扱説明書などをご参照下さい。
● 操作手順をファクスのワンタッチ登録等に組み込んでお使いになる場合は、プッシュ回線が便利です。

Fネットと電話網

●Fネットをご契約いただきますと、Fネットと電話網の2通りの方法でファクシミリ通信が行えます。
● Fネットでは、送信原稿をネットワーク内にいったんお預かりしたのち、受信側ファクスにお届けするシステムをとっています。万一お預かりした原稿をお届けできない場合には、その旨を不達通知・配送結果通知でお知らせします。この場合には通信料金はいただきません。

短縮ダイヤルの宛先情報に関する取り扱いについて

◆登録された短縮ダイヤルに含まれる宛先情報について、当社はサービス提供以外の目的で利用することはありません。
◆短縮ダイヤルの宛先情報は、Fネットの顧客データ管理装置内のみに保存されております。
顧客データ管理装置はFネット内においてファイアーウォール等で何重にもアクセス制限されており、外部ネットワークと遮断しております。

原稿の読み込みが開始されます。

送信完了

しばらくすると、送信した原稿と同じ原稿がFネットから折り返し送られてきます。

これで確認は終了しました。

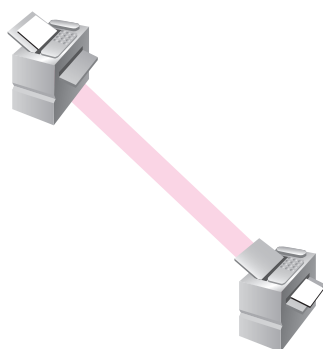
通信ボタンを押します。

CONTENTS

Fネットの基本サービス

以下の機能が基本契約のみでご利用いただけます。

● ファクス発信時、一度に送れる頁数は最大32頁です。33頁を超えて発信した場合、33頁以降は受付拒否となります。（Fネットへの発信時は、発信形態に関係なく同様です。）

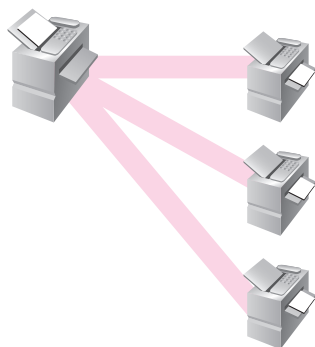
■ 1対1での通信

① 通常の場合　161

② 昼間に送って夜間配送を指定する場合　162

（午後7時～翌日午前8時の間に配送）

取消し方法（無料）　（原稿のセットは不要）　162

※ 夜間配送指定通信受付後には発信したファクスに受付通知文を配送し、「受付番号（5桁）」をお知らせしますので、午前8時から午後6時の間に限り、夜間配送指定通信を取消すことができます。

■ 複数宛先への通信（10宛先まで）（G4ファクスは、最大8宛先まで）

① 通常の場合　162

② 昼間に送って夜間配送を指定する場合　162

（午後7時～翌日午前8時の間に配送）

取消し方法（無料）　（原稿のセットは不要）　162

※ 夜間配送指定通信受付後には発信したファクスに受付通知文を配送し、「受付番号（5桁）」をお知らせしますので、午前8時から午後6時の間に限り、夜間配送指定通信を取消すことができます。

■ 時刻指定送信　162

● 夜間料金適用利用時間帯（午後7時～翌日午前7時）を指定した場合は、夜間料金を適用します。

● 時刻指定は96時間後まで可能です。但し、発信時刻から1時間以内の時刻指定は受け付けられません。（分単位の指定はできません。）

時刻指定送信の取消し（無料）　（原稿のセットは不要）　162

● 時刻送達指定の取消しは、指定時刻の1時間前まで取消し可能です。

■ 送達通知を利用した発信　162

● 送達できた宛先を通知文でお知らせします。

● 送達できた1宛先ごとに料金が加算されます。

■ ファクシミリ案内サービス情報取り出し （P9をご参照ください）　（原稿のセットは不要）　162

■ 再コール回数指定 （P13・P16をご参照ください）（無料）　（原稿のセットは不要）　161

● 回数を指定しない場合は、2分間隔×5回となります。

この音を確認してから次の操作に移ってください。	ダイヤルボタンを押します。	この音を確認してから次の操作に移ってください。	通信ボタンを押します。
	宛先電話番号		
	＃ 297　宛先電話番号 ＃		
	＃ 290　受付番号5桁 ＃	アナウンス	受話器を戻す
	＃ 213 ○〜○＊○〜○＊…＊○〜○(宛先電話番号)＃ ※宛先電話番号（○〜○）と宛先電話番号（○〜○）の間に＊ボタンを押してください。		
	＃ 297 ○〜○＊○〜○＊…＊○〜○(宛先電話番号)＃ ※宛先電話番号（○〜○）と宛先電話番号（○〜○）の間に＊ボタンを押してください。		
	＃ 290 受付番号5桁　＃	アナウンス	受話器を戻す
	＃ 59　指定日(01~31)指定時刻(00~23)＊＃213(宛先電話番号)＃ (例) 28日に時刻指定で30日の午後5時を指定し送信する場合 「＃593017＊＃213（宛先電話番号）＃」と操作します。		
	＃ 290 受付番号5桁　＃ ※時刻指定での送信後に発信したファクスへ受付通知文を配送し、受付番号をお知らせします。	アナウンス	受話器を戻す
	＃ 52　宛先電話番号		
	＃ 284　情報提供者電話番号+案内情報番号(000〜999)＃	アナウンス	受話器を戻す
	1563　再コールの回数(01〜50)	アナウンス	受話器を戻す

Fネットのサービス（一斉同報通信）

- 短縮ダイヤルのご利用にはお申し込みが必要です。
- ご利用になる前には、短縮ダイヤルへ宛先の登録をしてください。
- 最大10,000宛先まで同報送信できます。
- 送信結果は、配送結果通知文でお知らせします。

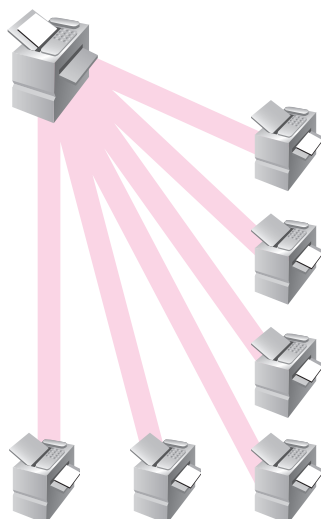
原稿をセットします。　ダイヤルボタンを押します。

■ 複数の宛先への通信

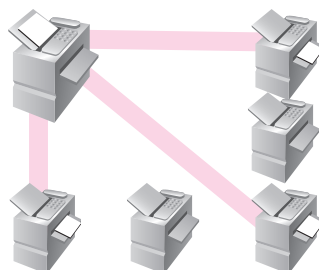
一度に全部の宛先への送信

162

任意の宛先への送信

162

- 任意の短縮ダイヤル番号を指定して送信することができます。
- 通常の電話番号と短縮ダイヤル番号を混在させて指定することはできません。

自動再送信

（原稿のセットは不要）　162

- 一斉同報通信で送れなかった相手先に、再度送り直すことができます。

■ 発信時間を指定して送信

時刻指定送信

162

- 夜間適用利用時間帯(午後7時～翌日午前7時)を指定した場合は、夜間料金を適用します。
- 時刻指定は96時間後まで可能です。但し、発信時刻から1時間以内の時刻指定は受け付けられません。（分単位の指定はできません。）

時刻指定送信の取消し（無料）

（原稿のセットは不要）　162

- 時刻送達指定の取消しは、指定時刻の1時間前まで取消し可能です。

■ 送達確認の利用

送達通知との併用

162

- 送達できた1宛先ごとに料金が加算されます。

送達の宛先確認

（原稿のセットは不要）　162

- 配送結果通知文が出力されるまでの任意の時点で、送達宛先確認要求ができます。
- 送達済み宛先を、送達宛先通知文にてお知らせします。

下記の操作手順をファクスのワンタッチダイヤルなどにセットされると、より便利にお使いいただけます。

※ 操作手順の短縮ダイヤル間にある ＊＊ 、＊ は [＊＊は何番から何番]、[＊は何番と]のような場合に使用します。

(注) 短縮ダイヤル番号の桁数については、短縮ダイヤル40～100のご契約の方は、00～99の2桁、300から1000のご契約の方は、000～999の3桁、2000から10000のご契約の方は、0000から9999の4桁での操作となります。

PuPuPu	1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / ＊ 0 ＃	P	START
この音を確認してから次の操作に移ってください。	ダイヤルボタンを押します。	この音を確認してから次の操作に移ってください。	通信ボタンを押します。
PuPuPu	**＃ 217 ＃**	P	START
PuPuPu	**＃ 213 ＊短縮ダイヤル番号(＊＊ 短縮ダイヤル番号) ＃**	P	START
PuPuPu	**＃ 211 受付番号5桁 ＃**	アナウンス	受話器を戻す
PuPuPu	**＃ 59 指定日(01～31)指定時刻(00～23)＊＃2XY～＃**	P	START
PuPuPu	**＃ 290 受付番号5桁 ＃**	アナウンス	受話器を戻す
PuPuPu	**＃ 2XY＊＃52＊短縮ダイヤル番号 ＃**	P	START
PuPuPu	**＃ 925 受付番号5桁 ＃**	P	START

＃ 213 ＊短縮ダイヤル番号(＊＊ 短縮ダイヤル番号) ＃

※ 複数の宛先へ送る場合は、□ 部分を繰り返し (( )内省略可)、最後に＃を押します。G3は最大10回まで、G4は桁数に制限があります。短縮ダイヤル番号は契約数により桁数が違いますのでご注意ください。

(例) 同報契約2000～10000をご契約の場合 (短縮ダイヤル番号4桁)
短縮ダイヤル番号0000～0019と2100～2999と4500の宛先へ送りたい
「＃213＊0000＊＊0019＊2100＊＊2999＊4500＃」と操作します。

(例) 同報契約300～1000をご契約の場合 (短縮ダイヤル番号3桁)
短縮ダイヤル番号000～055と100と200～299の宛先へ送りたい
「＃213＊000＊＊055＊100＊200＊＊299＃」と操作します。

(例) 同報契約40～100をご契約の場合 (短縮ダイヤル番号2桁)
短縮ダイヤル番号00～15と20と25から50の宛先へ送りたい
「＃213＊00＊＊15＊20＊25＊＊50＃」と操作します。

＃ 211 受付番号5桁 ＃

※ 不達の宛先があった場合、配送結果通知文で受付番号をお知らせします。

＃ 59 指定日(01～31)指定時刻(00～23)＊＃2XY～＃

※ 2XYは上記 ＃217、＃213になります。

(例) 28日に時刻指定で30日の午後5時を指定し短縮ダイヤル番号0800～1550の宛先へ送りたい。
「＃593017＊＃213＊0800＊＊1550＃」と操作します。

＃ 290 受付番号5桁 ＃

※ 時刻指定での送信後に発信したファクスへ受付通知文を配送し、受付番号をお知らせします。

＃ 2XY＊＃52＊短縮ダイヤル番号 ＃

※ ＃2XYは上記＃217、＃213になります。

(例) 送達通知を利用して、短縮ダイヤル番号00～25の宛先へ送りたい
「＃213＊＃52＊00＊＊25＃」と操作します。

＃ 925 受付番号5桁 ＃

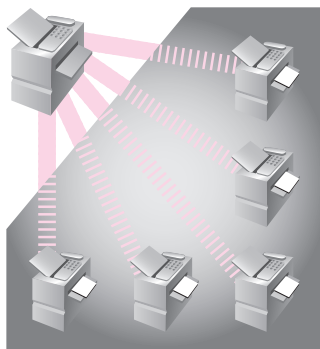
※ 上記、＃2XY＊＃52・・で同報発信後、呼受付通知文にて受付番号をお知らせします。

原稿をセットします。	ダイヤルボタンを押します。

■ 夜間帯に配送指定して送信

● 昼間帯に送信しておけば午後7時～翌朝8時までに自動的に送信します。時間の指定はできません。
● 夜間配送指定送信後に発信したファクスへ受付通知文を配送し、受付番号をお知らせします。
午後6時以降に夜間配送指定で発信した場合、受付通知文は返しますが配送の取消しはできません。

一度に全部の宛先への送信

162

任意の宛先への送信

● 任意の短縮ダイヤル番号を指定して送信することができます。

162

夜間配送指定通信の取消し（無料）

（原稿のセットは不要）　162

● 夜間配送指定の取消しは、午後6時まで取消し可能です。

■ 短縮ダイヤルの設定

〈FAXからの設定〉
契約回線からのダイヤル操作で宛先の編集が可能です。

短縮ダイヤルの登録・変更（無料）

（原稿のセットは不要）　162

● 一度に最大10個までの登録・変更ができます。
（G4ファクスは、最大5個）
● 登録・変更の後、登録の確認を行ってください。

登録の確認（無料）

（原稿のセットは不要）　162

● 任意の番号から任意の番号までを指定することもできます。（最大1000宛先）

消去（無料）

（原稿のセットは不要）　162

● 一度に最大40個までの消去ができます。
（G4ファクスは、最大15個）

〈eメールからの設定〉
お客様のeメールから直接、宛先の編集が可能です。

事前にパスワードの申請が必要です。
「Fネット宛先登録操作マニュアル」が下記の方法で取り出せますので参考にしてください。

ホームページからダウンロードする場合

ファクシミリ案内サービスから取り出す場合（無料）

（原稿のセットは不要）　003501

下記の操作手順をファクスのワンタッチダイヤルなどにセットされると、より便利にお使いいただけます。

※ **操作手順の短縮ダイヤル間にある［＊＊］、［＊］は［＊＊は何番から何番］、［＊は何番と］のような場合に使用します。**

（注）短縮ダイヤル番号の桁数については、短縮ダイヤル40～100のご契約の方は、00～99の2桁、300から1000のご契約の方は、000～999の3桁、2000から10000のご契約の方は、0000から9999の4桁での操作となります。

この音を確認してから次の操作に移ってください。	ダイヤルボタンを押します。	この音を確認してから次の操作に移ってください。	通信ボタンを押します。
PuPuPu	# 295 #	P	START
PuPuPu	# 297 ［＊短縮ダイヤル番号(＊＊短縮ダイヤル番号)］ # ※ 複数の宛先へ送る場合は、［　］部分を繰り返し（( )内省略可)、最後に＃を押します。G3は最大10回まで、G4は桁数に制限があります。短縮ダイヤル番号は契約数により桁数が違いますのでご注意ください。 ※ 操作の方法は前記＃213に準じます。＃213を＃297に置き換えて操作します。	P	START
PuPuPu	# 290 受付番号5桁 #	アナウンス	受話器を戻す
PuPuPu	# 311 ［＊短縮ダイヤル番号＊登録する電話番号＃］ ※ 複数の登録・変更をするときは、［　］部分を繰り返し操作します。 （例）短縮ダイヤル「00」に「＊×××-△△△-○○○○＃」を登録する場合 「＃311＊00＊×××△△△○○○○＃」と操作します。		受話器を戻す
PuPuPu	# 318 ［＊短縮ダイヤル番号の千位+百位+十位の数字 ＃］ ※ ［　］内の操作は短縮ダイヤルの契約数で操作が異なります。 （例）契約数40～100（短縮ダイヤル00～99）でご利用の場合 ・短縮ダイヤルの00～09まで確認したい場合は「＃318＊0＃」 ・短縮ダイヤルの00～39または99まで確認したい場合は「＃318＊0＊＊3（又は9）＃」 契約数300～1000（短縮ダイヤル000～999）でご利用の場合 ・短縮ダイヤルの100～199を確認したい場合は「＃318＊10＊＊19＃」 契約数2000～10000（短縮ダイヤル0000～9999）でご利用の場合 ・短縮ダイヤルの2100～2499と3000～3399を確認したい場合は 「＃318＊210＊＊249＊300＊＊339＃」と操作します。	アナウンス	受話器を戻す
PuPuPu	# 310 ［＊ 短縮ダイヤル番号 ＃］ ※ 続けてセットするときは、［　］部分を繰り返し操作します。 ※ 複数の登録・変更をするときは、［　］部分を繰り返し操作します。 （例）短縮ダイヤル番号「000」と「050」を消去する場合 「＃310＊000＃＊050＃」と操作します。		受話器を戻す
	http://www.ntt.com/iFAX/fnetinfo/ ご利用の手引き(PDFファイル、自己解凍形式)ダウンロード(約1.4MB)		
PuPuPu	# 287 ［5004567890＊181 ＃＃］ ※ 「Fネット宛先登録操作マニュアル」は15枚出力されます。	アナウンス	受話器を戻す

ファクシミリ案内サービス

社内情報、会員情報など、ビジュアルな案内情報がファクスから簡単に登録・取り出しできます。

- 案内情報は、1回線につき最大1,000ページまでの情報を最大1,000種類「000～999」（案内情報番号）に分類して登録できます。1案内情報番号には、32ページまで登録可能です。
- Fネット内の専用メモリに登録された案内情報をカンタンなダイヤル操作で取り出せます。
- 社内または特定の会員だけに限定した会員型ファクシミリ案内サービス（閉域接続（CUG）形）ができます。最大3,000端末までの指定ができます。ご利用には、短縮ダイヤルの契約が必要です。
- ファクシミリ案内の情報取り出しにかかる通信料を情報提供者が取り出しのお客さまに代わって負担する「情報提供者課金機能」も利用できます。別途お申し込みが必要です。
- 「情報提供者課金機能」を利用している場合は、Fネットに契約していない方からの取り出しも可能となります。

	原稿をセットします。	ダイヤルボタンを押します。
■ 情報提供のお客さま（IP）		
情報の登録・更新		162
登録内容の確認　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
サービス開始　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
利用状況の確認　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
サービス停止　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
情報の消去　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
■ 情報提供者（IP）課金設定		
限定地域の登録　（無料） ● あらかじめ情報提供者が取出者の地域指定を行うことで、該当の地域からの情報取り出しのみ通信料を負担します。（20の地域を指定可能）	（原稿のセットは不要）	162
限定地域の消去　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
利用限度額の設定（無料） ● IP課金の限度額を任意に設定することができます。（0～9,999,999円）	（原稿のセットは不要）	162
登録条件の確認　（無料）	（原稿のセットは不要）	162
■ 情報取り出しのお客さま		
一般の取り出し操作の場合 ＜通信料金は情報取り出しのお客さまに課金されます。＞ ● Fネットの契約が必要です。	（原稿のセットは不要）	162
IP課金機能利用の情報を取り出す場合（無料） ＜通信料金はIP側に課金されます。＞ ● Fネットの契約をしていない方も取り出すことができます。	（原稿のセットは不要）	162

この音を確認してから次の操作に移ってください。	ダイヤルボタンを押します。	この音を確認してから次の操作に移ってください。	通信ボタンを押します。
	#282 案内情報番号(000~999)[⁎ページ番号(01~32)]# ※ 案内情報番号ごとに行います。ページ番号指定時は、指定ページ以降から登録されます。[ ] 内省略時は、01ページからの登録となります。		
	#288 案内情報番号(000~999)[⁎ページ番号(01~32)]# ※ 案内情報番号ごとに行います。ページ番号指定時は、指定ページ以降から確認できます。[ ] 内省略時は、01ページから確認できます。	アナウンス	受話器を戻す
	#281 案内情報番号(000~999) # ※ 案内情報番号を省略すれば、全案内情報の一括しての開始も可能です。	アナウンス	受話器を戻す
	#285 # ※ 一括で確認できます。(案内情報番号ごとの利用状況が出てきます)	アナウンス	受話器を戻す
	#280 案内情報番号(000~999) # ※ 案内情報番号を省略すれば、一括しての停止も可能です。	アナウンス	受話器を戻す
	#289 案内情報番号(000~999) # ※ サービス停止の操作を行った後、案内情報番号ごとに行います。	アナウンス	受話器を戻す
	#483 暗証番号4桁⁎地域テーブル番号(00~19)⁎⁎登録局番2~6桁# ※ 暗証番号は「発信者指定着信課金」と同様です。 ※登録局番とは、電話番号の市外局番の2~6桁で設定可能です。	アナウンス	受話器を戻す
	#487 暗証番号4桁 ⁎地域テーブル番号(00~19)(⁎⁎地域テーブル番号) # ※ 複数の登録局番を削除する場合、□部分をくり返し最後に#を押します。( ) 内は省略可能です。	アナウンス	受話器を戻す
	#484 暗証番号4桁 ⁎ 限度額(0~9999999)# (例) IP課金の利用限度額を10万円に設定する場合 「#484◎◎◎◎ (暗証番号)⁎100000#」と操作します。	アナウンス	受話器を戻す
	#488 暗証番号4桁 #	アナウンス	受話器を戻す
	#284 情報提供者電話番号⁎⁎案内情報番号(000~999)[⁎ページ番号(01~32)]# ※ 案内情報番号ごとに行います。※[ ] 内は、省略可能です。 ※Fネット短縮ダイヤルサービスをご利用の方は情報提供者電話番号の代わりに「⁎短縮ダイヤル番号」での指定もできます。 ※案内情報番号が2桁の場合、⁎⁎は省略可能です。	アナウンス	受話器を戻す
	#287 情報提供者電話番号⁎⁎案内情報番号(000~999)[⁎ページ番号(01~32)]# ※ 案内情報番号ごとに行います。※[ ] 内は、省略可能です。ページ番号指定時は、指定ページ以降からの取り出しとなります。(最大32ページ分出力されます。) ※Fネット短縮ダイヤルサービスをご利用の方は情報提供者電話番号の代わりに「⁎短縮ダイヤル番号」での指定もできます。 ※案内情報番号が2桁の場合、⁎⁎は省略可能です。 (注1)「IP課金機能」を利用していない一般のIPの情報を上記(#287)の操作で取り出そうとした場合は、受付拒否通知文でお知らせします。 (注2)「IP課金機能」利用のIPの情報を、上記(#284)の取り出し操作でも取り出しは可能ですが、その場合の通信料金は取り出し側へ課金されます。	アナウンス	受話器を戻す

着信課金サービス

ご利用に際してはお申し込みが必要です。
着信側で通信料を負担することができるサービスです。Fネットに契約していない方からも受信することができます。
いわば、Fネットのフリーダイヤルです。（着信課金契約者への発信方法は、P13をご参照ください。）

● 着信側で、発信者と発信地域を合わせて最大20件を指定することができます。

ダイヤルボタンを押します。

■ 発信者指定着信課金設定

指定電番の登録（無料） 162

● あらかじめ着信側で発信側電話番号を指定し、該当の電話番号からFネットで発信された通信料を着信側で負担します。

指定電番の確認（無料） 162

指定電番の消去（無料） 162

暗証番号の登録・変更（無料） 161

■ 発信地域限定着信課金設定

限定地域の登録（無料） 162

● あらかじめ着信側で発信側の地域指定を行い、該当の地域からの着信のみ通信料を着信側で負担します。

限定地域登録の確認（無料） 162

登録局番の消去（無料） 162

この音を確認してから次の操作に移ってください。

ダイヤルボタンを押します。

この音を確認してから次の操作に移ってください。

通信ボタンを押します。

＃422 暗証番号4桁＊発信者テーブル番号(00～19)＊＊電話番号＃ アナウンス 受話器を戻す

※暗証番号は「暗証番号登録・変更」をご参照ください。

(例) 発信者テーブル番号05へ「×××-△△△-○○○○」の電話番号を登録し
着信課金を受ける場合
「＃422◎◎◎◎(暗証番号)＊05＊＊×××△△△○○○○＃」と操作します。

＃428 暗証番号4桁 ＃ アナウンス 受話器を戻す

＃429 暗証番号4桁 ＊発信者テーブル番号(00～19)(＊＊発信者テーブル番号) ＃ アナウンス 受話器を戻す

※複数の指定番号を削除する場合、□部分をくり返し最後に＃を押します。
( )内は省略可能です。

(例) 発信者テーブル番号の00～06までを消去する場合
「＃429 ◎◎◎◎(暗証番号)＊00＊＊06＃」と操作します。

1242 旧暗証番号4桁＋新暗証番号4桁 アナウンス 受話器を戻す

(例) 暗証番号として「4484」を登録する場合（初めて登録する場合）
「124200004484」と操作します。

※「0000」は暗証番号を最初にセットするときにのみ使用します。「0000」を暗証番号として登録することはできません。

＃423 暗証番号4桁＊地域テーブル番号(00～19)＊＊登録局番2～6桁＃ アナウンス 受話器を戻す

※暗証番号は「発信者指定着信課金」と同様です。
※登録局番とは、電話番号の市外局番の2～6桁で設定可能です。

＃428 暗証番号4桁 ＃ アナウンス 受話器を戻す

＃427 暗証番号4桁 ＊地域テーブル番号(00～19)(＊＊地域テーブル番号) ＃ アナウンス 受話器を戻す

※複数の登録局番を削除する場合、□部分をくり返し最後に＃を押します。
( )内は省略可能です。

(例) 地域テーブル番号の00～09までを消去する場合
「＃429 ◎◎◎◎(暗証番号)＊00＊＊09＃」と操作します。

その他のサービス

	原稿をセットします。	ダイヤルボタンを押します。
1宛先への送信		162
複数宛先への送信		162
登録（無料）	（原稿のセットは不要）	161

■ 着信課金通信（P15をご参照ください）

着信課金サービスに契約している着信側へ送信するときに、「着信課金通信」で発信することにより通信料が着信側にかかります。

● Fネットに契約していない方も利用できます。

● 着信側が「発信者指定着信課金」「発信地域限定着信課金」に契約されていて発信者が登録条件に満たない場合、発信を受付拒否されることがあります。

■ 再コール回数の登録（P16をご参照ください）

再コールの回数をお客様のファクスで任意の回数（2分間隔×1〜50回）に指定できます。

●回数を指定しない場合は、2分間隔×5回となります。

下記の操作手順をファクスのワンタッチダイヤルなどにセットされると、より便利にお使いいただけます。

※ 操作手順の短縮ダイヤル間にある ＊＊ 、＊ は［＊＊は何番から何番］、［＊は何番と］のような場合に使用します。

（注）短縮ダイヤル番号の桁数については、短縮ダイヤル40〜100のご契約の方は、00〜99の2桁、300から1000のご契約の方は、000〜999の3桁、2000から10000のご契約の方は、0000から9999の4桁での操作となります。

＃225 宛先電話番号（又は＊短縮ダイヤル番号）＃

※Fネット短縮ダイヤルサービスをご利用の方は、短縮ダイヤル番号での指定が可能です。

＃213＊＃225［＊短縮ダイヤル番号（＊＊短縮ダイヤル番号）］＃

※［ ］内は最大9回くり返し可能です。（ ）内は、省略可能です。

- 宛先電話番号指定の場合「162＃213＊＃225宛先電話番号［＊宛先電話番号］＃」
- 短縮ダイヤル一括指定の場合「162＃217＊＃225＃」

1563 再コールの回数（01〜50） アナウンス 受話器を戻す

こんな機能も使えます

■ G4ファクスとの接続　G4機⇔G3機の高速通信も可能

Fネットなら、自在。INSネットに収容されているG4ファクスをFネットと接続することにより、Fネットを通してのG4機の相互通信、G4機⇔G3機の相互通信が可能になります。しかもFネットなら、G4機からG3機へ、あるいはG3機からG4機へG4ファクスが持つ本来の高速性を活かして送信、受信することができます。全国どこへでも送信できますので、一斉同報通信などが一層便利にご利用いただけます。

● FネットG4サービスの契約は、INSネット1契約者回線番号ごとに1契約となります。
● 一部ご利用になれないファクスがあります。
● G4モードでの着信は契約が必要です。(FネットG4サービスの契約をされていないG4ファクスへの着信はG3モードでの着信になります)
● G4モードでの発信は標準モードのみ利用可能です。(高品質モードは利用できません)

■ 静かに受信、静かなオフィスや住空間　無鳴動自動受信

1本の電話回線でファクスと電話を効率よく使いたい方に最適。電話のときはベルが鳴るのにファクスのときはベルを鳴らさず自動受信。新たに専用の回線を設置する必要がありません。

● 無鳴動自動受信をご契約になり、Fネットから受信する場合に限ります。
● 転換器によりファクスと電話を兼用している場合、ご利用できないことがあります。
● 一部ご利用になれない機種があります。
● INSネットでは、ご利用できません。ターミナルアダプタ（TA）+ G3でご契約の場合でTAに無鳴動機能があれば利用可能です。

■ いわばFネットのフリーダイヤル　着信課金サービス

着信課金サービスを契約している端末へ指定の操作で送信する通信について、着信側で通信料を負担します。

● ご利用の開始に際しては、着信側でお申し込みが必要です。
● 着信課金通信の発信は送達通知・ファクシミリ案内取り出し操作との併用はできません。
● Fネットに契約していない方の着信を受け付けることもできます。

■ 特定の相手とのみ相互通信ができる閉域接続

お互いに短縮ダイヤルでセットし合った相手とだけ通信できる仕組み。最大3,000端末の専用のネットワークが構築できます。ダイヤル誤操作等による情報漏れを防ぎ、第三者との送信をカットしますので、重要書類の送受信にも安心です。

● ご利用の開始に際してはお申し込みが必要です。
● 電話網ご利用の通信は自由にできます。
● 送信側・受信側とも、閉域を組む相手先数に見合うFネットの短縮ダイヤルの契約が必要です。

■ 空きファクスで待たせず受信ができる代表扱い

電話番号の（代）と同様に、ファクスにも代表番号を設定できる機能です。親番号のファクスが使用中の場合、送信されてきた原稿を自動的に子番号のファクスで受信します。複数のファクスが近接して設置されているオフィスで効果を発揮します。

● ご利用の開始に際しては、お申し込みが必要です。
●「A4サービス」と「B4サービス」、「無鳴動サービス」と「鳴動サービス」の混在はできません。
● G4サービスはご利用できません。

■ 話し中でも困らない　再コール・不達通知

先方が「お話し中」のとき、自動的にFネットがあなたに代わって再コール。もうファクスまで何度も足を運ぶ面倒がありません。それでも送れなかった場合は送信側ファクスに「不達通知」でお知らせしますから安心です。

● 再コールの回数をお客さま側のファクスで任意の回数（2分間隔×1～50回）が指定できます。指定されなければ2分間隔×5回となります。
●「不達通知」には届かなかった原稿1ページ目の約1/3が付きます。途中で送れなくなったときでも、どこまで送ったのかが一目でわかります。

■ INSネット接続のG3ファクスからもFネット利用が可能 ターミナルアダプタ+G3サービス

ターミナルアダプタ（PBX含む）を使ってINSネット回線に接続しているG3ファクスからFネットの利用ができるサービスです。

- ご利用の開始に際しては申し込みが必要です。
- 発信・着信ともG3モードでの通信になります。
- このサービスでのFネット利用にはプッシュ信号が必要です。ファクス端末の回線種別をプッシュ回線用に設定してご利用ください。

■ INSネットダイヤルイン追加番号ファクスからのFネット利用

INSネットダイヤルイン追加番号ファクスからFネット発信した場合も、各種通知文（不達通知等）は発信したファクスに出力できます。

- ご利用にはダイヤルイン追加番号へのFネット登録が必要です。（登録無料）ただし、INS契約者回線がFネット未契約の場合は、契約が必要です。
- ダイヤルイン追加番号ファクスからのファクシミリ案内取り出しの利用も可能です。

■ こんなときは…

Fネットサービスに必要な条件と料金

■ 各サービスご利用にあたっての条件

サービス ＼ 必要な条件		Fネット短縮ダイヤルのご利用	サービス利用のお申し込み	記事
一斉同報通信		○	「短縮ダイヤルサービス」	
送達通知		—	—	
閉域接続		○	○	閉域接続を組んでいる宛先以外への通信はできません。
代表扱い		—	○	「A4サービス」と「B4サービス」、「無鳴動サービス」と「鳴動サービス」の混在はできません。 G4サービスでのご利用はできません。
ファクシミリ案内	情報提供	△	○	閉域接続形の場合は、短縮ダイヤルのご利用が必要です。
	情報取出	—	△	情報提供者が、情報提供者(IP)課金で提供している情報取り出しの場合は不要です。
ファクシミリ案内情報提供者課金		—	○	
着信課金サービス		—	○	「一般着信課金」「発信者指定着信課金または発信地域指定着信課金」のいずれかのひとつがご利用になれます。

■ 料金表

1.基本サービスの料金（一回線毎に）契約料・使用料……無料
＊付加サービスをご利用になる場合は、別途工事費と使用料がかかります。

2.通信料

（円/1枚あたり）

サービスクラス	時間帯	標準モード	高品質モード
G4・G3サービス（A4判・B4判）	昼間（8時～19時）	40円（税込 42円）	55円（税込 57.75円）
	夜間（19時～翌8時）	25円（税込 26.25円）	35円（税込 36.75円）

- 送達通知は、1宛先ごとに5円(税込 5.25円)加算されます。
- 「G3サービス」「G4サービス」でA4判の原稿を送信される場合は、長さ297mmまでを1ページとして、B4判の原稿を送信する場合は、長さ364mmまでを1ページとして料金を計算します。
- 同報通信を行った場合は宛先数分の通信料となります。
  例：原稿1枚を30ヶ所へ同報通信したときの通信料（昼間帯G3サービス標準モードで送信した場合）
  42円（税込）× 1枚 × 30宛先=1,260円（税込）
- 「G4サービス」は標準モードのみです。（高品質モードはご利用できません。）

3.付加サービスの料金

付加サービス			使用料(月額)	工事費
Fネット短縮ダイヤル	セット数 40個までのもの		100円（税込 105円）	交換機等工事費 1,700円（税込 1,785円） （オプション（付加サービス）をご利用になる場合のみ必要です。2つ以上の工事を同時に行う場合、[交換機等工事費×工事数]となります。）
	セット数 100個までのもの		200円（税込 210円）	
	セット数 300個までのもの		600円（税込 630円）	
	セット数 500個までのもの		800円（税込 840円）	
	セット数 1,000個までのもの		1,000円（税込 1,050円）	
	セット数 2,000個までのもの		1,200円（税込 1,260円）	
	セット数 3,000個までのもの		1,400円（税込 1,470円）	
	セット数 4,000個までのもの		1,600円（税込 1,680円）	
	セット数 5,000個までのもの		1,800円（税込 1,890円）	
	セット数 6,000個までのもの		2,000円（税込 2,100円）	
	セット数 7,000個までのもの		2,200円（税込 2,310円）	
	セット数 8,000個までのもの		2,400円（税込 2,520円）	
	セット数 9,000個までのもの		2,600円（税込 2,730円）	
	セット数 10,000個までのもの		2,800円（税込 2,940円）	
ファクシミリ案内	基本額	案内情報 10ページ	4,600円（税込 4,830円）	
	加算額	10ページ超100ページまで追加案内情報10ページごとに	800円（税込 840円）	
		100ページ超1,000ページまで追加案内情報100ページごとに	8,000円（税込 8,400円）	
	情報提供者課金		200円（税込 210円）	
着信課金サービス			200円（税込 210円）	
閉域接続			—	

●工事費は、付加機能の利用開始または利用変更時にかかります。
※複数の商品・サービスを利用される場合はお手元で計算された額と実際の請求額が異なる場合があります。
※掲載している料金は2007年4月現在のものになります。

お得なFネット月極割引

Fネット月極割引とは、毎月定額料をお支払いいただきますと通信された時間帯・曜日にかかわらず、Fネット通信料を1か月分合計し、通信料のご請求時に割引きさせていただくサービスです。

※1か月のご利用が、通常のFネット通信料（Fネット・月極割引をご利用にならない場合のFネット通信料）に比べておトクにならなかった場合でも、定額料・通信料の減額または、翌月以降への繰り越しはいたしません。

特色
1. 昼間・夜間を問わず、割引になります。
2. お客様のご利用状況に合わせて2種類のサービスプランからお選びいただけます。

サービスプラン名	サービスプラン内容（1回線ごとに）
Fネット月極割引10 FネットINS月極割引10	月々550円（税込 577.5円）の定額料のお支払いでFネット通信料金が10%割引 ●毎月のFネット通信料が5,500円（税込 5,775円）を超える場合に、おトクになります。
Fネット月極割引15 FネットINS月極割引15	月々1,550円（税込 1,627.5円）の定額料のお支払いでFネット通信料金が15%割引 ●毎月のFネット通信料が20,000円（税込 21,000円）を超える場合に、Fネット月極割引10よりさらにおトクになります。

お問い合わせは、NTTコミュニケーションズ販売代理店
または下記連絡先へ

■お問い合わせ 0120-161011
受付時間：午前9時～午後5時（月曜～金曜）
※土・日・祝日は休業とさせていただきます。

■故障受付 0120-161019
受付時間：24時間（年中無休）

Mailアドレス cic@ifax.olink.ne.jp

●本パンフレットの記載内容は、サービス改善等のため予告なく変更することがあります。
●は登録商標です。

NTTコミュニケーションズ株式会社
4205000014（2009年6月現在）